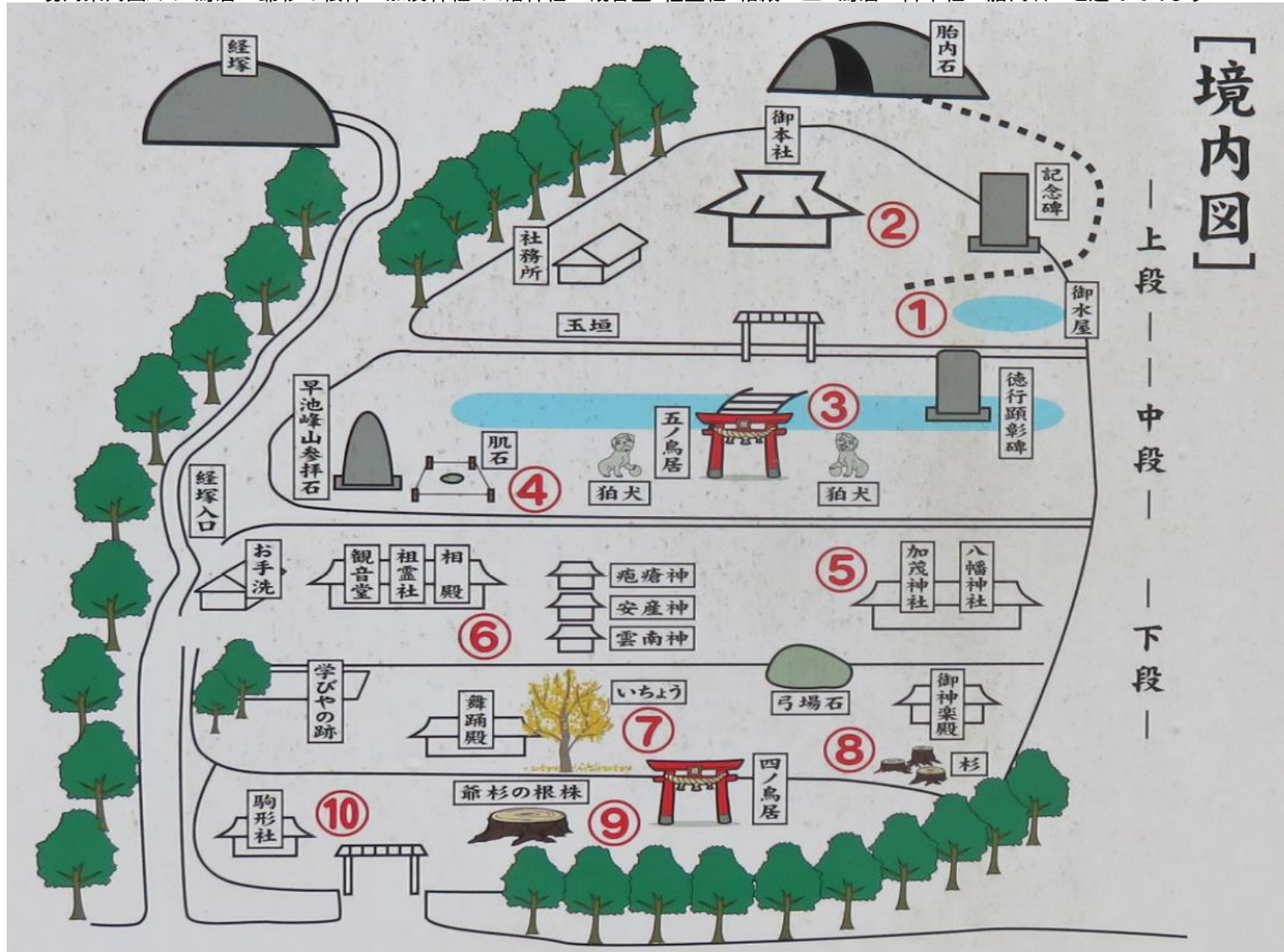


## 丹内山神社(花巻市)

ここが丹内山神社(たいないさんじんじゃ)/左手の石製標柱には「史跡 丹内山神社経塚」、木製標柱には「岩手県指定有形文化財丹内山神社 藤原清衡 篤信の社」とある



境内案内図/四ノ鳥居～爺杉の根株～加茂神社・八幡神社～観音堂・祖霊社・相殿～五ノ鳥居～御本社～胎内石へと進んでみよう



これは四ノ鳥居/前方に見えるのが五ノ鳥居



これは爺杉の根株/花巻市東和町指定天然記念物



前方は五ノ鳥居



これは加茂神社・八幡神社



ここは観音堂・祖霊社・相殿/屋根には置き千木や鯉木が載り、神社であるが仏像が置かれる寺院としての機能も合わせ持つようだ/ビデオは学びやの跡  
～観音堂・祖霊社・相殿～疱瘡神・安産神・雲南神～舞踊殿をパノラマで見たところ [\(クリックしてビデオを見る\)](#)



見せ場は彫刻か・・・





木造十一面観音菩薩立像、丹内山神社仏像(不動明王立像)が収められているようだ





岩手県指定有形文化財（彫刻）

## 木造十一面観音菩薩立像

ちくぞうじゅういちめんかんのんぼさつりゅうざう

指定年月日 平成六年九月十六日

所在地 花巻市東和町谷内

所有者 丹内山神社

法量 全高一五八センチメートル

丹内山神社の由緒によると、平安時代に平泉・藤原氏からこの像が寄進されたと伝えられています。

一木造りで、像容に多くの類似点が見られることから、凌雲寺・十一面観音立像と同一の人物により制作されたと考えられています。

明治初年の廃仏毀釈によって、東和町安俵の凌雲寺に移されましたが、後に丹内山神社に戻されて今に至ります。



花巻市指定有形文化財（彫刻）

## 丹内山神社仏像（不動明王立像）

たんないさんじんじやぶつぞう

ふどうみやうおうりゅうざう

指定年月日 昭和三十二年三月三十一日

所在地 花巻市東和町谷内

法量 全高一三五センチメートル

一木造り。虫損や風化により詳細な像容は把握できませんが、肉付の少ない体躯や静的な姿勢から、平安時代から鎌倉時代頃の制作と考えられます。

木造十一面観音菩薩立像と同様、明治初年の廃仏毀釈で、凌雲寺に移されていましたが、後に丹内山神社に戻されて今に至ります。



五ノ鳥居



説明板/坂上田村麻呂が東夷(東北の蝦夷征伐)の際に参籠したとある/その後、エミシ(蝦夷)の末裔でもある藤原清衡の庇護も受けたようだ

## 丹内山神社と藤原清衡公の由来

当神社は地方開拓の祖神として栄え、延暦年間、坂上田村麻呂が東夷の際に参籠される等、日ごと月ごとに靈験あらたかで、嘉保三年(一〇九六)頃から当時の管領藤原清衡公の信仰が篤に厚く、耕地二十四町歩を神領として寄進され、また山内には御堂百八ヶ所を建立し、百八躰の仏像を安置した社と伝えられています。藤原清衡は、隣の郡である江刺の餅田の館に居住していたことから、当神社に距離も近く、毎年の例祭には、清衡自ら奉幣して、祭りを司っていたと言われています。その後は、安懐城主小原氏、(平清義、時義、義清)更には、南部藩主南部利敬公の崇敬が厚く、藩主の祈願所として栄え、現在に至っています。

東和町観光協会

ここが御本社(本殿)への神門





これが御本社/江戸時代後期の再建/岩手県指定有形文化財

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





こちらは更に彫刻が凄い/二軒として軒の出を大きくするために、斗拱も二手先となっている



海老虹梁も迫力満点



身舎の軒先は、更に軒の出を大きくするために三手先となっている



そこかしこに彫刻が...



こう見ると確かに軒の出が大きい



御本社の壁面にはさまざまな彫刻が施されている/中国の故事や古事記・万葉風の彫刻らしい

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



反対側の壁面もこんな塩梅/斗拱は二手先



二手先の斗栱と三軒の状況





# 丹内山神社について

この神社の創建年代は、約千二百年前、上古地方開拓の祖神、多通知比古神を祭神として祀つており、承和年間（八三四―八四七）に空海の弟子（日弘）が不動尊像を安置し、「大聖寺不動丹内大権現」と称し、以来、神仏混淆による尊崇をうけ、平安後期は平泉の藤原氏、中世は安俣小原氏、近世は盛岡南部氏の郷社として厚く加護されてきたと伝えられる。さらに、明治初めの排仏毀釈により丹内山神社と称し現在に至っている。

この本殿は、現存の棟札によると、文化七年（一八〇）に再建されたもので、盛岡南部利敬公の代、当時の別当は小原和泉實吉であり、棟梁には中内村の吉重郎、脇棟梁に八重郎・宇助が造建にあたったことが知られる。

この建造物の特徴として、本殿の内陣には、権現づくりの厨子が据えられており、正・側面の外壁一面に中国の古事や古事記・万葉風の彫刻、脇障子は唐獅子と牡丹が彫刻されている。県内の社寺建造物の内では彫刻装飾優位の建物で、当時の地方大工の力量を知ることのできる貴重なものであり、平成二年五月に県指定有形文化財（建造物）となっている。

又、本殿の左側山頂付近の経塚（県指定史跡）から全国でも数個しかないと云われる影青四耳壺（白磁無紋の壺、北宋の花瓶）、湖州鏡、中国古銭、経筒など（県指定文化財）が出土しており、平安時代末期頃からの地域の優れた文化の跡が偲ばれる。

東和町教育委員会

これは「アラハバキ大神の巨石(胎内石)」/丹内山神社霊域の御神体と云う



## アラハバキ大神の巨岩（胎内石）

千三百年以前から当神社霊域の御神体として古から大切に祀られている。地域の信仰の地として栄えた当社は、坂上田村麿、藤原一族、物部氏、安俣小原氏、南部藩主等の崇敬が厚く領域の中心的祈願所であった。安産、受験、就職、家内安全、交通安全、商売繁昌等の他、壁面に触れぬようくぐりぬけると大願成就がなされ、又触れた場合でも合格が叶えられると伝えられている巨岩である。

東和町観光協会

### 胎内石

壁面に触れぬようくぐりぬけると安産の願いが叶えられると伝えられています。

ここを潜ると・・・



左手から見たところ



ここへ出て来る

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



背後から見たところ



## 参考ホームページ

<https://www.travel.co.jp/guide/article/9913/>

<https://project311.jp/2248.html>

[https://blog.goo.ne.jp/hi-sann\\_001/e/86e0dd07a30248b3cc307b3f62820e54](https://blog.goo.ne.jp/hi-sann_001/e/86e0dd07a30248b3cc307b3f62820e54)

<http://www.artwing.biz/kaze/towa/tannai-zinzva/tannai-zinzva.html>

[http://home.s01.itscom.net/sahara/stone/s\\_tohoku/033\\_tannaisan/033.htm](http://home.s01.itscom.net/sahara/stone/s_tohoku/033_tannaisan/033.htm)

<http://www.niigata-u.com/files/kengai/iwate18/180626a1.html>

<https://note.com/ochachanocha/n/ne24638fbb5b4>



